

関西学院評価推進委員会
委員長 ルース・M・グルーベル
(関西学院 院長)

2014年度聖和短期大学自己点検・評価結果について

聖和短期大学の2014年度自己点検・評価結果である「自己点検・評価報告書【目標の進捗（達成）状況評価・報告】」を公表いたします。

聖和短期大学の2014年度自己点検・評価は、2009年度に短期大学が設定した2013年度までの目標について、進捗状況の評価・報告を行いました。2013年度1年間の評価ではなく、2014年4月30日までの5年間で、目標がどこまで進捗（達成）したか、それにより、どのような成果が得られたのかの評価です。

さて、関西学院は、内発的で自律的な発展への循環過程（PDC Aサイクル）を強化するため、認証評価と連動させた自己点検・評価を毎年行う制度（「新たな自己点検・評価」）を2004年度に構築しました。そして、大学が2005年度の自己点検・評価報告書により2006年度に大学基準協会による認証評価を受け、「適合」の認定を得、2007年度からは学内第三者評価を組み込んだ自己点検・評価（進捗状況報告）を毎年実施してきました。

聖和短期大学は、2009年度に短期大学基準協会の評価項目に本学独自の評価項目を加えたものを評価項目として定め、評価項目ごとに2013年度までの目標を設定しました。2010年度からは学内第三者評価を組み込んだ自己点検・評価を毎年実施しその結果を公表してきました。自己点検・評価は、評価項目ごとに設定した「目標の進捗評価」「現状の説明」「効果があがっている事項」「改善すべき事項」について自己点検・評価結果を記述し、学内外の評価委員がコメントをする、という内容です。しかしながら、2013年度は2014年度に機関別認証評価を受けることから、その準備（そのための自己点検・評価の実施と報告書作成など）を行う必要があり、毎年行ってきた自己点検・評価は簡素化し、「目標の進捗評価」のみとしました。そして、本年度は、2009年に設定した目標の進捗（達成）状況と、それによりどのような成果が得られたかについて、5年間の総括として「目標の進捗（達成）評価」を実施しました。

「目標の進捗評価」は、目標がどこまで達成したかについて自ら評価するもので、「目標に基づいて行う」という本学の自己点検・評価の基本であり大変重要です。目標を設定することで方向性を明確にし、進捗（達成度）を評価・管理することで改善の歩みを進めるものです。目標の進捗（達成）状況を十分に分析し、問題点や課題などを洗い出した上で、これらを伸長、改善するための具体的な計画を実行し、教育研究水準の向上を図ってまいります。

「自己点検・評価報告書【目標の進捗（達成）状況評価・報告】」は聖和短期大学の公式 Web サイトで公表いたしますが、このことで社会に対して聖和短期大学の活動を報告する、という短期大学の責任のひとつを果たすことができれば幸いです。

なお、報告書をご覧いただき、お気づきの点などございましたら、ご意見をお寄せください。

以上

※ 2009年度に設定した目標の進捗（達成度）評価が2013年度にどのように変わったかについて、次のページに状況を示します。A評価が2.5%→67.5%、B評価が0.0%→25.0%と順調に進捗しています。

聖和短期大学自己点検・評価における「目標」の達成度評価状況

《2009年度と2013年度の評価状況》

※ 2010年度以降に設定された目標は除外

◎割合

	2009年度	2013年度
A評価	2.5%	67.5%
B評価	0.0%	25.0%
C評価	70.0%	5.0%
D評価	27.5%	2.5%
計	100.0%	100.0%

◎件数

	2009年度	2013年度
A評価	1	27
B評価	0	10
C評価	28	2
D評価	11	1
計	40	40

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

